

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	議会報告会・意見交換会事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）	主管課	議会事務局				
施策	6-3	地方分権・広域行政への取組	主管課長	玉田 雅則				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	議員自ら市内に出向き、議会の状況を報告するとともに、市民からの意見を市政に反映できるように意見交換会を行う。
事業内容	年2回各公民館等を会場に議会報告会を開催し、市議会の活動報告と市民の方との意見交換を実施。			
事業開始から現在までの状況変化	平成21年度に第1回の議会報告会を開催。第8回議会報告会から常任委員会ごとの班構成で開催。平成30年度は、第16回・第17回を開催。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	議会報告会・意見交換会参加人数	121	162	110	人	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

- ・議員が自ら企画、準備等行い、議会報告会を運営することができている。
- ・議会報告会について、市民に分かりやすいテーマを設定できるよう、常任委員会別で報告会の班編成を行った。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	686,500	671,200	659,200
事業費(b)(円)			
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)	686,500	671,200	659,200
人役・職員(人)	0.10	0.10	0.10
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	来場者が増加するように、周知方法を検討していく。	③取組における課題(Check)	ここ数年、常任委員会単位で報告会を実施してきた。今後の体制についてどのようにするか、より多くの参加者を得るためにさらに検討する必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	常任委員会単位でテーマを選定し、5月及び11月に各4会場で開催し、計110名の出席者をえた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	引き続き、より多くの参加者が来ていただき、活性化した意見交換ができるよう、議会報告会のあり方と周知方法を検討していく。